

2020年11月度 高島屋営業報告

〔売上高 総計〕

㈱高島屋 計 ^{※1}	△11.6	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社 計	△11.6
㈱高島屋 既存店計 ^{※2}	△10.6	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計 ^{※3}	△10.1

〔店舗・事業部別 概況〕

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大阪店	△18.4	△34.1	柏店 ^{※4}	△9.1	△12.7
堺店	△1.2	△7.1	㈱高島屋 各店計	△12.8	△24.8
京都店 ^{※4}	△14.8	△22.2	㈱高島屋 各店 既存店計 ^{※2}	△11.7	△23.1
泉北店	△0.7	△6.7	岡山高島屋 ^{※4}	△3.1	△20.8
日本橋店	△7.4	△25.6	岐阜高島屋	△9.3	△10.6
横浜店 ^{※5}	△10.8	△29.7	高崎高島屋	+1.9	△7.4
新宿店	△20.0	△33.7	㈱高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	△12.7	△24.5
玉川店	+1.2	△6.2	㈱高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計 ^{※3}	△11.1	△22.6
立川店	+0.4	△2.0	法人事業	+1.3	
大宮店	△8.9	△17.9	クロスメディア事業	+16.8	

※1. ㈱高島屋の売上高は、㈱高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※3. 2020年3月に全株式を譲渡した米子高島屋および2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※4. 京都店の売上高は「洛西店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山高島屋の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※5. 横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」を含みます。

横浜店の前年比は2020年2月に営業を終了した「タカシマヤ スタイルメゾン」の売上を含む前年実績との対比です。

〔商品別売上高〕

	㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	△20.8	△21.1	食料品	△5.5	△5.9	サービス	+5.7	+4.2
紳士服・洋品	△26.4	△26.4	生鮮食品	△2.8	△4.4	その他	+1.6	+0.9
婦人服・洋品	△20.3	△20.8	菓子	△7.8	△7.5			
子供服・洋品	△25.6	△25.1	惣菜	△2.8	△3.1	合計	△11.6	△11.6
その他衣料品	△1.2	△2.1	その他	△7.7	△8.1			
身のまわり品	△8.8	△7.1	食堂・喫茶	△26.6	△26.8			
家庭用品	△11.3	△11.0	雑貨	△12.9	△12.7			
家具	+1.9	+2.6	化粧品	△32.4	△31.1			
家電	△36.4	△35.4	美術・宝飾品・貴金属	+12.9	+12.9			
その他家庭用品	△11.3	△11.3	その他	+13.2	+12.6			

○百貨店は、引き続き外出を控える動きやインバウンド売上の大幅な減少が継続している影響により、前年を下回りました。

免税売上は前年比△90.4%、免税を除いた店頭売上は同△7.7%（既存店計△6.0%）となりました。

なお、対前々年比では、店頭売上は△16.3%（既存店計△14.8%）、免税を除いた店頭売上は△11.0%（同△9.2%）でした。

○店舗別売上では、玉川店、立川店、高崎店が前年を上回りました。なお免税売上のマイナス影響が大きい大阪店、京都店、新宿店は前年を大きく下回りました。

○クロスメディア事業は食料品などの伸長により、前年比プラスとなりました。

○12月度の店頭売上は、14日までの累計が前年比△13.8%（前々年比△18.3%）、免税売上は前年比△87.6%、免税を除いた店頭売上は前年比△10.0%（前々年比△13.8%）で推移しています。

以上